

リリースノート - Ki Pro Ultra 12G v2.5

Firmware for Ki Pro Ultra 12G

全般

ファームウェア v2.5 では、Ki Pro Ultra 12G においていくつかの機能改善が追加されています。潜在的な不具合回避のためにも、最新版のファームウェアにアップデートすることをお勧め致します。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、www.aja.com のサポートページでご確認いただけます。

v2.5 での新機能

- ・ WebUI 上のステータス表示において、“Input Data Rate” 項目に 3G SDI のレベル表記も追加
- ・ HDR モードが有効になっている場合、本体フロントパネルおよび Web UI 上で HDR モードの旨を表示
- ・ 現在進行形ではない収録に関係するアラーム（アラームの事象としては解消されているが表示されたままのアラーム）については、解決済みとしてフロントパネルおよび WebUI 経由でアラーム表示をクリアにする機能を追加。なお、その時点でアクティブなアラームについては表示を消すことはできません。
- ・ 収録中に入力ビデオ信号が無くなった際には、本体フロントパネルおよび Web UI 上へ即座に “Warning: Loss of Video Event” とメッセージを表示。このメッセージは、次の収録が開始されるまで、もしくは解決済みの場合に上述の機能でアラーム表示をクリアにするまでは、表示される仕様になっています。

v2.5 での修正、変更および改善点

- ・ ある特定の状況では、再起動の際に HDR 関連設定内容が保持されない不具合を修正
- ・ ビデオ入力：HDMI、ゲンロック：Input に設定している状態で、UltraHD/4K かつ 50/59.94/60 フレームのクリップを再生している場合に、誤って “genlock mismatch” (ゲンロックが合っていない) とアラームが表示される不具合を修正

- ・入力ビデオ信号が RGB 形式でかつ収録コーデックとして DNxHD が設定されている場合、収録が失敗する場合がある不具合を修正
- ・ある特定のフォーマットでのテストパターン出力時の場合に、SDI 出力の SDI レベル設定が反映されないことがある不具合を修正
- ・DNx コーデックでは無効なフレームレートを選択している場合であっても、DNx コーデックでの収録が動作してしまう不具合を修正
- ・ロールオーバー収録が有効になっていない状態にも関わらず、稀にロールオーバーエラーが表示される不具合を修正
- ・入力フォーマットが UltraHD/4K の場合に CONFIG メニュー 1.66 (HDMI Out) の設定内容を変更すると、フロントパネルがフリーズし収録にも支障が出る不具合を修正
- ・収録時のタイムコードソースとして “Time Of Day” を選択している場合、本体フロントパネルの CONFIG メニュー 55.4 (Date/Time) から 日付/時間の値を変更しても、本体ディスプレイ上に変更内容が反映されない不具合を修正
- ・マルチチャンネルモード設定時に、ゲンロックされていない 3G-SDI Level A の信号が入力された場合、チャンネル 2-4 の映像に垂直方向の不連続性が見られる不具合を修正
- ・HDMI 入力ポートにビデオ信号が入力されていないがビデオ入力として HDMI を設定されている場合に、フロントパネルディスプレイでは SDI 入力が表示されたままになっている不具合を修正
- ・CONFIG メニュー 1.5 (Out Convert) において “4K Crop to Quad HD” が選択されており、かつ 4K フォーマットの収録クリップを再生している場合、チャンネル 1 出力が誤って 2K として表記される不具合を修正
- ・フロントパネルの CONFIG メニュー 35.2 (Remote Control) および Web UI の該当箇所では “RS422 Only” という不正確な表記になっている：実際は “RS422 Only” が選択されていてもフロントパネルおよび Web UI から操作できる状態です。
 - ・今回のアップデートでは、このメニューの選択肢を “RS422 Only” から実際の挙動に合わせた “RS-422 Enable” へ名称を変更
- ・12 bit RGB の信号が 6G-SDI もしくは 12G-SDI インターフェースで Input 1 に入力された場合、カラーシフト（色味のずれ）が見られる不具合を修正
- ・フロントパネルの CONFIG メニュー 1.65 (Playback Image Division) および Web UI の該当箇所において “Auto” を選択している場合、出力は常に スクエアディビジョンになってしまう不具合を修正

- ・収録コーデックとして DNxHD を設定している場合に、稀にロールオーバー収録が失敗する不具合を修正
- ・ハイフレームレート RGB 444 のビデオフォーマットを HDMI ポートから入力すると、本体フロントパネルディスプレイがフラッシュしたりフリーズする不具合を修正（本体ディスプレイのみの問題で、収録には影響はありませんでした）
- ・WebUI 確認時に Firefox ブラウザを使用すると、Firmware ページの “reboot” ボタンが動作しない不具合を修正
- ・DNxHD SQ コーデックで 1080p50 フォーマットのクリップを収録している際に、ビデオ入力途切れた際に収録クリップが破損する場合がある不具合を修正
- ・その他様々な内部パフォーマンス改善

ファームウェア更新時の注意点

- ・ファームウェアアップデート時に Windows 環境の場合は Chrome ブラウザを使用しないようお勧めします。この問題は、ファームウェア v1.1 で修正されております。
- ・ファームウェアアップデートを行う前に、本体 “CONFIG” ボタンもしくは Web UI の “Preset” メニューから “Factory Reset” で工場出荷状態にリセットすることをお勧めします。
- ・ファームウェアのアップデートを行った後は、Web ブラウザ (Safari、Firefox など) と Ki Pro Ultra 12G との接続が解除される場合があります。Web ブラウザをリロードすることで、Web UI に再接続できるようになります。
- ・収録中には、ファームウェアアップデートを試みないでください。ファームウェアのアップデートを行う前に、必ず Ki Pro Ultra 12G が停止状態であることを確認してください。